

何よりも安全のために！ 運転士は会社の便利屋ではない！ 車掌を強制強要するな！本人の意思を尊重しろ！

主張!!

本日、申第17号「運輸系統の社員運用、在来線における中堅車掌の確保及び車掌養成の体制強化についての申し入れ」について業務委員会を開催しました。

現在の運輸系統の社員運用制度は2004年に導入されました。その理由として、「駅の中堅・指導層が不足しているから」とされていました。その当時に開催された団体交渉において、本部は、「いずれ車掌や運転士の中堅層が不足する」ことを指摘しました。しかしそのとき会社は、「何ら問題はない」としてこの制度を強引に進めてきました。

ところがこの制度が導入され7年たった今、会社は、在来線の中堅車掌が不足しているとして、運転士を中堅車掌として再異動し車掌養成の体制を強化すると提案してきました。まさに本部が当時指摘した通りとなりました。そもそも、誰が考えてもこのような事態になることは容易に予測できたことです。これはまさに現在の運輸系統の社員運用制度の破綻です。会社は、労働者を便利屋のごとく安くこき使うために、この制度を導入し軌道に乗せようとしてきました。しかしそれは無理なことでした。

本部は今業務委員会で、「制度は破綻であり、したがって安全から逆行するような制度自体を見直すべきだ。異動に際しては、強制強要はせず何よりも社員の希望を尊重せよ」と迫りました。また、多くの社員から「たらい回しにするな」等の切実な怒りの意見があることも明らかにしました。しかし、残念ながら会社は、職場で発生している問題や現場社員の声を無視するという姿勢を押し通しました。

JR東海労はこのような会社の姿勢を許すことなく、多くの問題がある「運輸系統の社員運用」について、今後もその解決に向けて闘います！

申第17号について業務委員会を開催
「運輸系統の社員運用、在来線における中堅車掌の確保及び車掌養成の体制強化についての申し入れ」